

冬の教研 in 箕面学園

12月22日本校では終業式が終わった次の日、毎年恒例♪冬の教研が行われました。今回の講演者は三上智恵さん。元琉球朝日放送のアナウンサーであり、映画監督としてこれまで4本の映画を作成してきました。今回はその中の最新作「沖縄スパイ戦史」を見てそれぞれの感想などを言いあい、三上さんの話を聞きます。その後夕食を食べながらの交流会があり、良い時間を過ごすことができました。また、様々な人の思いが詰まった詩がのったすてきなカレンダーと室元先生力作!!クリスマスカードのお土産もありました。



映画の紹介(私が読み取ったこと)

沖縄北部の戦争、戦争マラリア、スパイ虐殺のを中心に構成され、現代の自衛隊のことにも少しふれています。戦争では民衆がとことん利用され、使い捨てにされる…爆弾にあたって死ぬだけではない…戦争の本当の恐ろしさが理論的にわかる映画です。詳しくは映画をご覧ください。「沖縄スパイ戦史 上映会」で検索してみてください。

沖縄だけの話ではない…

映画を見た後、感想交流がありました。「辛くなった。生き残った人もしんどい思いをしている。沖縄戦は他とは違う」という高校生のことば。「教員として子どもたちにどのように伝えたらよいか考えさせられる」という先生の言葉が印象的です。また、三上さんも感想や質問を熱心に聞いている姿も印象的でした。その後、三上さんの話に移ります。「これはただ沖縄であった過去の話ではなく、沖縄そして日本で起こりうる今の話。その準備が着々と進められている。」と三上さんは熱く語ります。その他にも、仲間に裏切られた良光さんのその後の話。隣人との関係などで公開できなかったことなども語ってくれました。なぜこの戦争の詳細が今まで出せなかったのかがわかるお話でした。同時に私たちがこのことをどう伝えていったらよいのかも深く考えさせられます。



参加者の感想(一部抜粋)

戦争とはここまで人間らしさを奪ってしまうのだと恐ろしさをまざまざと突きつけられた映画でした。

沖縄戦でよくつかわれる「軍は住民を守らない」という言葉の意味が深くわかる映画でした。証言をする方々の悲痛な表情にどれほど当時の状況が辛いものだったか自分の想像をはるかに超えたものだと感じました。

(高校生の感想) 沖縄戦というとアメリカとの戦争というイメージがつよいけど、今回の映画を見て沖縄戦のイメージが変わった。自分の年より小さい子が自分の背より高い銃を持って仲間が死んでいく中でどんなことを思ったのか、到底自分にはわからないけどその場にいる自分が一番怖いと思いました。

村上と同じぐらい憎まれていた先生。その先生も統治されていた。コントロールされていた。自分は本当にコントロールされていないと言えるのか。気づかずにコントロールされているんだと気づくのです。映画を見ることで気づかせてもらいました。

三上智恵さんのエネルギーがすごい! 自分に使命感を持っている人の言葉は「力」があります

LGBT 学習交流会 in 大阪暁光

個人的に興味があり、おじゃまさせていただきました。講師は京都府立高校教員の土肥いつき先生。難しく、デリケートな問題を気さくに話してくれたのでとても聞きやすい講演でした。本当は「配慮」をすること自体がおかしなこと。頭ではわかっていた。でも具体的な事例を聞き、自分の感覚がいかに間違っていたのかを気づかせてくれました。なにより質問しやすい雰囲気をつくってくれた土肥先生がすてきでした。とても勉強になる会でした。他の人にもおススメです!! 深く知りたい方は青年部の新年会に来てください!! (笑)



次回予告

- 1月12日(土) 20時30分から青年部新年会を行います。どなたでも参加可能です!! いろんな先生のいろんな話が聞きたいです。是非お近くの先生を誘って来てください!!
場所: 谷町6丁目 費用: 3000円 申込は以下のメールアドレスへ
- 3月10日(日) 近畿ブロック学習交流会を開催します。青年からベテランまで近畿を中心に全国からたくさんの先生が集まります。新年度に向けた深い学びがあなたを待っています!!
場所: 英真学園高校 詳細は未定!! 問い合わせは以下のメールアドレスへ
n.s.k.a.mario@gmail.com (西村)